

US 形ダクタイトイル鉄管（LS 方式）の接合要領 補足

【管外式ストッパを使用する場合】

1. はじめに

US 形ダクタイトイル鉄管（LS 方式）の接合では、ロックリングを受口溝に預け、分割部を払げて挿し口を挿入する。ロックリングの分割部にストッパをセットするが、ストッパには管内で取り外す方式（管内式ストッパ、接合要領書記載）と管外からワイヤー等で引っ張って取り外す方式（管外式ストッパ）がある。

ここでは、管外式ストッパの作業要領について以下に示す。

なお、作業の安全面については「US 形ダクタイトイル鉄管 接合要領書 JPA W 13」に準じること。

2. 管外式ストッパの形状・寸法

図 2 および表 1 に管外式ストッパの形状および概略寸法を示す。管外式ストッパは、標準 B₂ 寸法のもの、標準 B₂ 寸法よりも 10mm 大きいもの(+10mm)および 10mm 小さいもの(-10mm)をそれぞれ用意したほうがよい。

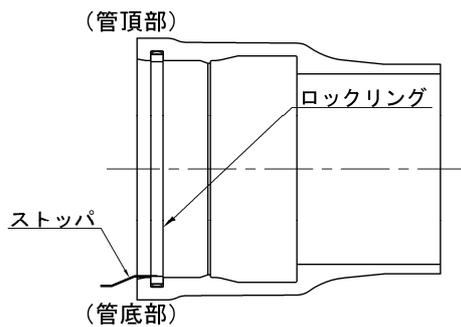
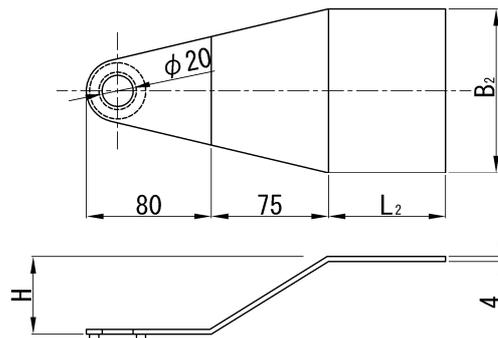


図 1 管外式ストッパのセット



※ 材質：ステンレス鋼

図 2 管外式ストッパの形状

表 1 管外式ストッパの概略寸法

呼び径	L ₂	B ₂	H	呼び径	L ₂	B ₂	H
800	60	145	50	1650	70	125	50
900				1800			
1000				2000			
1100				2100			
1200	75	130		2200			
1350				2400			
1500	70	115		2600	80	160	
1600		125					

3. 管外式ストッパの取外し

管外式ストッパに取外し用のワイヤロープ等を取り付けておき、図 3 に示すように挿し口端部がディスタンスピースに当たるまで管を引き込む。

管外式ストッパに連結しているワイヤロープ等をレバーホイスト等で引っ張りストッパを外す。

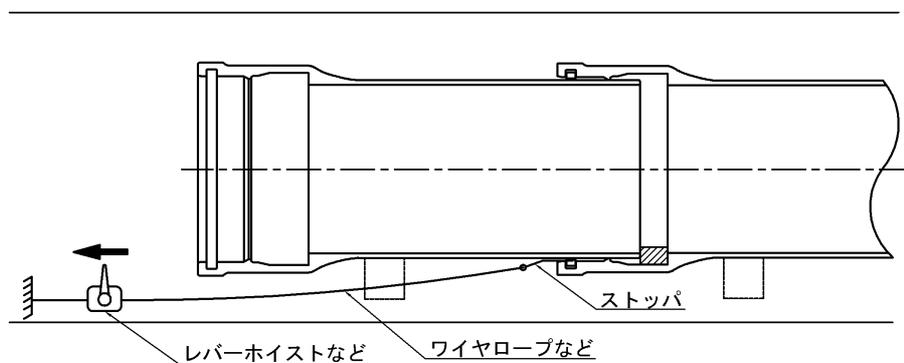


図 3 管外式ストッパ

以上